

様式第4号（第5条関係）

いなべ市議会意見交換会実施報告書

2025年 9月 25 日

いなべ市議会議長 様

（議員名） 伊藤三保

下記のとおり、いなべ市議会意見交換会を実施したので、報告します。

| | |
|-------------------|---|
| 開催日時 | 2025年9月11日 17時30分～19時30分 |
| 開催場所 | NPO法人 快生教学会 |
| 出席議員 | 位田まさ子、片山秀樹、原田敬司、伊藤三保 |
| 団体名 | NPO法人 快生教学会 |
| 参加人数 | 3 人 |
| テーマ | 介護崩壊のはじまりについて |
| 意見交換の内容 (要点記録) | <p>本市においても高齢化の進展に伴い、介護サービスの需要は今後一層増大することが見込まれる。その一方で、介護人材の不足が深刻化しており、介護職員初任者研修や介護福祉士実務者研修において受講者が集まらず、研修が開催できない状況が生じている。</p> <p>近隣の菰野町では、研修受講者への費用助成制度が設けられており、一定の受講希望者を確保出来ている。本市では、研修費助成が行われていないため、介護人材の参入減が顕著になりつつある。</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・最低賃金の引き上げに対し、介護報酬改定が遅れており、介護職員の待遇改善が進みにくい。 ・他産業との賃金格差が拡大し、介護職員の流出・新規参入減が加速する恐れがある。 ・市内の介護研修の応募者がほとんどなく、今後の人材育成に深刻な支障が生じている。 <p>上記のことから、市内在住、または市内の介護事業所に勤務予定の方を対象に、国、県の補助金を活用し、受講料の一部、または全額助成する「介護人材育成支援制度」を創設することを提案したい。</p> |